

令和元年度第1回清瀬市みどりの環境保全審議会（要旨）

[日 時] 令和元年7月22日（月） 14:00～16:00
[場 所] 清瀬市健康センター 第3会議室
[出席者] 委 員8名（全員出席）
事務局4名 都市整備部長、水と緑の環境課長、緑と公園係2名

[議事次第]

1. 都市整備部長 挨拶
2. 委嘱状の交付
3. 会長及び副会長の互選
4. 「清瀬市みどりの基本計画」の改定（令和2年度）について
5. その他

[配布資料]

次第、資料1「委員名簿」、資料2「みどりの基本計画 令和3年度改定版の概要説明」、資料3「施策シート（A3）」、資料4「アンケート事例」、資料5「保存樹木の解除」、資料6「（新）清瀬せせらぎ公園関係の図面」、資料7「花のある公園WSの資料」

《1. 都市整備部長 挨拶》

《2. 委嘱状の交付》

《3. 会長及び副会長の互選》

委員の推薦により、会長に福嶋委員、副会長に森田委員が就任。

《4. 「清瀬市みどりの基本計画」の改定（令和2年度）について》

どの自治体も緑の基本計画を策定しているなかで、いかに「清瀬市らしい」計画をいかにとりまとめていくか、清瀬市の個性・特徴などが出るまとめ方、全体構成を目指す。

[主な取組みの実施状況の確認]

- ・資料3の推進施策の「取組みの内容・実績」が、推進施策の内容に対することになっているか、つまり、最初に意図していた施策の内容が網羅されているか。
- ・「今後の取組みの課題など【例】」に関しては、「できたか、できなかったか、ここはできたが、ここはできていない」という書き方が望ましい。未検討は未検討でいいので、推進施策の取組み内容・実績を明確に整理すること。
- ・緑被率を構成する要素のうち農地は減少が激しく、すぐに緑被率に反映されるので、みどりの基本計画を検討していくために、農地は欠かせない要素である。まず、長期総合計画、農業基本計画、環境基本計画など、他の計画との擦り合わせをしていただきたい。資料3に、他の計画との関連性がわかるような資料を作成してほしい。⇒2年かけて改定するため、来年度の検討事項とする。それぞれのセクションの動向や施策についても見据えてみどりの基本計画を改定するために、今までの情報や他の情報を集めて整理してもらいたい。

[市民アンケートについて]

市民のみどりへの意識の変化を探るため、前回のみどりに関する市民アンケートをベースにして、現在の課題である小規模公園の管理の問題や、街路樹や公園緑地の高木などについて、市民の意向を把握できる項目や今後の施策に活用できる項目を追加したい。また、社会情勢などを踏まえ、対象を20歳から18歳以上としたいが、アンケートの解析に必要な性別は不問にすることも検討課題である。

- ・「どういうふうを感じるか」というメンタル面のアプローチと、具体的な公園・緑地の必要な規模などの「空間的な量と質の問題」へのアプローチは分けて聞く必要がある。「みどりが多いと思うか、少ないと思うか」といった、どう思っているかというレベルでは次に議論が進まない。ところが、みどりの質の問題になれば、改善はできる。
- ・街路樹も、清瀬市のみどりの要素で重要なものであるが、けやき通りであれだけ大きくなったケヤキを残していくには、大きくなればそれだけ枝もたくさん生え、日影もできて枯れ枝もでる、さらに維持にもかなりの金額がかかっているため、今のままで良いのか検討していく必要がある。そして、落ち葉や日影の問題では、市民の一部は「切れ」、別の市民は「木は大切だ」といった議論はどこでもある。街路樹のあり方をどうするのか、市にどうしてほしいのかを問うことは重要である。事故などの危険性もある。そういうことで、アンケートでは、市民が清瀬の街路樹をどう見ているのか、確認したい。
- ・樹木の役割に関して、問6の「あなたのお住まいの庭やベランダのみどりについて」の設問は、自分が作れる自分周辺のみどりに関して、「みどりの役割は大きいので、あなたはお庭でもどこでもいいので緑化できますか」「木などを植樹できますか」など、質問を変えて生かした設問を検討してほしい。市民みんながみどりを大事にし、増やしていこうという気持ちを活かしてほしい。
- ・問14の「みどりの役割について」の設問は今回実施しない方向の設問としているが、みどりの基本計画に「市民一人一人がみどりの重要性を理解し、そのみどりを守るために何が必要かを考える」ということが挙げられている。それに、これから市民が中心になってみどりを守っていく時代に向けて、「みどりは何で大切なのか」を把握させる質問がないと、みどりを守ろうという気持ちが育たない。
⇒広い括りの項目なので、質問の前のほうで、大前提として聞いて、それから細かい話に入っていく、全体的な質問から具体的な質問に整理していく。
- ・性別についての設問は入れてほしい。みどりに関する催し物への参加者は圧倒的に女性が多く、男性は少ないので、忙しいのか、関心がないのかを把握したい。性別と年齢を連動させれば、子育て世代などイメージも湧く。⇒折衷案として、「主婦」「フルタイム勤務」など職業などで間接的に聞く案、答えづらいあるいは答えられない場合は結構ですという前提をつける案もあり、事務局で再度検討する。
- ・清瀬に住みたくなった理由、清瀬から転出したくない理由などで「みどりが多い」といった質問がほしい。先ほど、みどりの役割に関する細かい項目があったが、個人的にはぜひ知りたい。漠然としたみどりの住環境、あるいは教育の関係、それをどのように捉えていくかも重要な要素なので、そういった項目を増やしてほしい。⇒市の世論調査では、清瀬

市はみどりが多いから良いという意見が多いというのはこれまでに明らかである。それで引っ越してきたり、みどりを残してほしいというのは、市民の多数が思っていることなので、もう少し突っ込んだ質問を入れるべき、という意見もあり、引き続き検討。

- ・市民の皆さんの近所にまだ開放されていないみどりの空間で、「あそこが開放されれば良いな」と意識を持っている人がいれば、自由回答でもいいので出してほしい。遊歩道として歩けるようにするとか、そういう場所があっても良いと個人的には思う。
- ・(委員から質問) 問 19 の公園の維持・管理に関する設問は、でてくる回答の察しがつくが、意味のある質問なのか。

事務局⇒いま、小規模公園のあり方というのは問題化している。宅地開発に伴って寄附される公園は小さく、数は増える一方である。夏になると草が繁茂し、管理が追い付かない。使われていない公園を売却や別の使いみちで用途を変えられるのであれば、大きな公園に集中的に投資するとか、小さな公園を近隣住民のリフレッシュの場として作り変える代わりとして、管理を地域の人ボランティアでお願いする、といった方策を考えていかななくてはならない。

- ・「小さい公園をどうしたいか」という絞り込んだ議論をしないと、答える人はどれをイメージすればよいのか分からない。「〇〇㎡以下の小さな公園が××箇所ある、これをどう考えるか」という絞り込んだ質問のほうが、期待する回答を得るために良い。質問の意図を明確にして、市がどういった施策を検討しているのか、分かりやすくした方がよい。
- ・狭い公園に木がたくさん植えられていて、ただ木を植えれば良い、剪定するときは丸坊主というのは、みどりを増やしたと言えるのか、疑問である。今、空間の話で整理されているが、片方では質の問題も考えておかないと、せっかく公園として維持するのであれば、植えるだけではなくて、管理を考えていかななくてはならない。
- ・大規模公園に関して、みどりが周りを囲んでいると防火機能もあるので、面積・質など、防災の観点からも大規模公園はどうあるべきかというのは、災害の時に、市民がどこに逃げ込めばよいか意識してもらうことにもなる。
- ・みどりのサポーターやボランティア制度の紹介・募集などを質問に含めてほしい。

《5. その他》

事務局から、資料 5～7 の説明。

次回日程について、10 月上旬を予定。

以上